

全ての政策は「現地・現物」から生まれる

～現地・現物が原点。当事者の“生”の声をしっかり聞いて、国政に届けます～

北方領土問題の早期解決に向けて、北方四島ビザなし交流事業に参加 (8月14日～)

飛鳥物流を訪問し、コンテナ物流の現状と課題について意見交換 (8月26日)

豪雨で被災した佐賀県を、山本順三防災担当大臣等と視察 (8月31日)

緊急要望書

参院情報監視審査委員会として、アメリカ・カナダの政府機関を視察 (9月16日～)

国民民主党 五木代表一行と東京モーターショーを視察 (10月31日)

路上積み降ろし問題の解消に向けて、台東区のパスベイ設置事業を視察 (11月15日)

港湾法改正の審議に際し、茨城県鹿島港の洋上風力発電設備を視察 (11月26日)

朝の街頭活動始めました! ～原点に立ち返り、一步一步着実に～



国会訪問ありがとうございます!

2019.6.25-2019.11.30

【主な団体の方々】	人数	訪問日	訪問先	人数
6月28日 TMMIN	4名	10月16日	自動車総連全国地協議長会議	84名
8月19日 航空連合	43名	10月24日	マツダOB連絡会	14名
8月20日 トヨタ労組新任執行委員	19名	10月28日	全トヨタ労連政治・政策局	8名
8月22日 本田技研労組	6名	10月29日	ATビジネス労組	7名
8月23日 トヨタシステムス労組	10名	10月30日	スズキ労連	31名
8月23日 全本田労連親子DE国会訪問	53名	10月31日	全本田労連季刊誌取材	9名
8月23日 スズキ労連親子国会	36名	11月 1日	三菱自工労組水島支部MYU	12名
8月26日 タイハツ労働部	13名	11月 5日	三菱自動車ふそう労連	109名
9月 3日 重徳和産後援会	30名	11月 8日	ヤマハ発動機労組(本社工場支部・磐田北支部)	37名
9月 4日 全トヨタ労連本部新任役員	25名	11月11日	日野労連副委員長研修会	18名
9月20日 日産労連エルダークラブ北関東南ブロック	40名	11月13日	三互労組・三互関東労組	4名
9月26日 日産労連エルダークラブ西湘ブロック	79名	11月18日	日野労連研修会	33名
9月26日 三菱自工労組新任役員セミナー	23名	11月20日	ホンダ販売労組	91名
10月2日 トヨタ労組社会政策局	7名	11月22日	大豊工業労組	30名
10月2日 三菱自工労組総務組織部	4名	11月25日	日野労連	35名
10月2日 日産労連組織政治局	3名	11月29日	ヤマハ発動機労組(浜北支部・袋井支部)	29名
10月15日 日産労連エルダークラブ横浜南西ブロック	16名	11月29日	東海理化労組	41名
10月15日 三菱自動車ふそう労連	4名			

35組 1,007名の皆さんにお越しいただきました。



はまぐち誠 写真で綴る活動報告

2019.8.2-2019.11.30



西へ、東へ 仲間の皆さんの元へ

日々、勉強

はまぐち誠 駆け巡っています!

議員生活 **1,223**日経過
移動距離 **42万3,837km!** (地球約10.5周分!)

154,717名の方に会いました!
(2019年11月30日現在)

はまぐち誠 知られざる世界

好きな方も多いのでは?
蒙古タンメン中本!!
出張の合間、辛旨ラーメンで有名な蒙古タンメン中本で晩ご飯。辛レベル5のタンメンを美味しくいただきました。^^ (汗)
500円毎に1P貯まるスタンプカードがあるらしく、集めると、社長さんの名前「誠」文字が入ったオリジナルグッズがもらえるとか。お持ちの方、教えて下さい^^

はまぐち誠の役職 (2019年11月未現在)

- 国会(参議院)**
- 決算委員会理事
 - 国土交通委員会委員
 - 国際経済・外交に関する調査委員会
 - 情報監視審査委員会
- 党務**
- 政務調査会副会長
 - 企業団体副委員長
 - 参議院政審会長代理

コミュニケーションツールの定番! はまぐち誠 LINEスタンプ

「走れ!はまぐち誠くん。」のスタンプ名で検索!
50LINEコイン(120円)で販売中!

お気軽にお立ち寄りください!

浜口誠事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館1022号室
TEL: 03-6550-1022 FAX: 03-6551-1022
mail: makoto_hamaguchi01@sangiin.go.jp
URL: http://www.hamaguchimakoto.com/

LINE @ 公式アカウントID検索「@hamaguchi」

Facebook 「はまぐち誠」で検索 「いいね!」をお願いします!
URL ▶ <http://www.facebook.com/hamaguchimakoto.jp>

SNSもぜひチェックしてください!

参議院議員

2020.01 vol.016

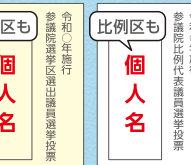
はまぐち誠手帖

活動レポート はまぐち誠手帖

発行 国民民主党参議院比例区第18総支部



参院選で特定の人を応援するには、必ず、個人名で投票しましょう。



明け方におめどやございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。今年も東京・利根川・パワースタジアムが開催されます。日本を訪問される海外の方々に日本の文化、自然、食の素晴らしさを知っていただくとともに、自動運転をはじめとする日本の自動車産業の技術の高さや次世代エネルギーである水素の可能性の発信など日本のものづくり産業の魅力をアピールする機会としていくことが大切だと思います。政治面では、衆議院総選挙がいつ行われるか予断を許さない状況ですが、今年も「初心を忘れず」、働く皆さん、自動車産業の代表として金銭を取り組んでいく決意です。引き続きのご支援を宜しくお願い申し上げます。

令和二年 国民民主党 参議院議員 浜口誠



「対決」一辺倒ではなく、国民生活の課題の「解決」を目指す!

つくろう、新しい答え。

国民民主党 公式サイト <https://www.dpfp.or.jp/>

SNSもチェック!

(2019年11月5日、12月3日)

被災地の復旧・復興支援に資する高速道路の無料開放について (一連の台風被害を受けて)

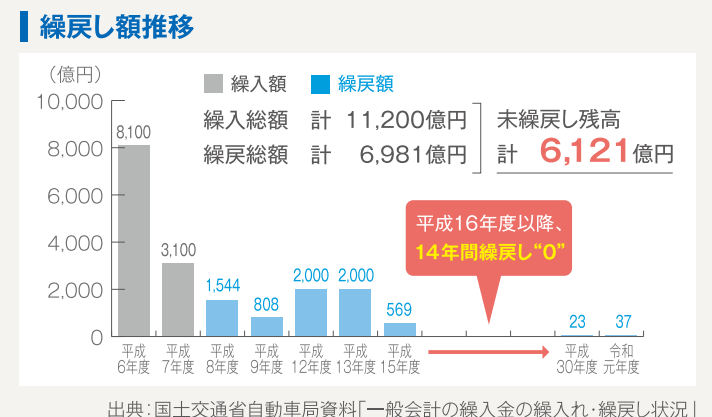


はまぐち誠の主張
被災地支援において物流網の確保は重要
一般道だけでは渋滞し、支援の輪が広がりにくい
現状は一部区間だけの無料化に止まっている
被災地に寄り添う、政府の最大限の支援という姿勢を示すためにも、高速道路の無料化の適用拡大をお願いしたい

赤羽国土交通大臣の答弁
現在、12の都県において無料措置を実施
今後の状況がより深刻になれば、これまでの大規模災害時の事例も踏まえて検討していきたい

自動車安全特別会計の繰戻し問題について

背景
国の財政状況の逼迫を理由に平成6年度から一般会計に繰り入れられた自動車安全特別会計だが、現在も約6,100億円が返還されていない状態
自動車安全特別会計の積立金の原資は、税金ではなく、自動車ユーザーの自賠責保険料
自動車事故被害者救済事業の大切な財源になっているが、救済事業を行うために、積立金の取り崩しが続いている状況



はまぐち誠の主張
救済事業を将来にわたり安心して継続させる観点から、少なくとも積立金の取り崩しに歯止めをかける繰戻し額に増額すべき

赤羽国土交通大臣の答弁
交通事故被害者・ご家族から大変不安の声が出ていることは承知している
肝心の被害者の皆さんの救済事業に支障がないよう、しっかり取り組んでいきたい

高速道路料金の見直しについて

はまぐち誠の主張
高速道路は国民生活の基盤をなす国民共有の財産
日本の高速道路分担率(≒利用率)は約2割と、諸外国(3割超)に比べて低い
より活用してもらうためには、料金の引下げが必要

Table comparing toll rates in Japan, America, and France.

赤羽国土交通大臣の答弁
日本の高速道路分担率が低い要因は様々あるが、料金の問題もその一つ
物流を担うトラックなどは、環境面においても高速道路を利用してもらえようような施策が必要だと思っている



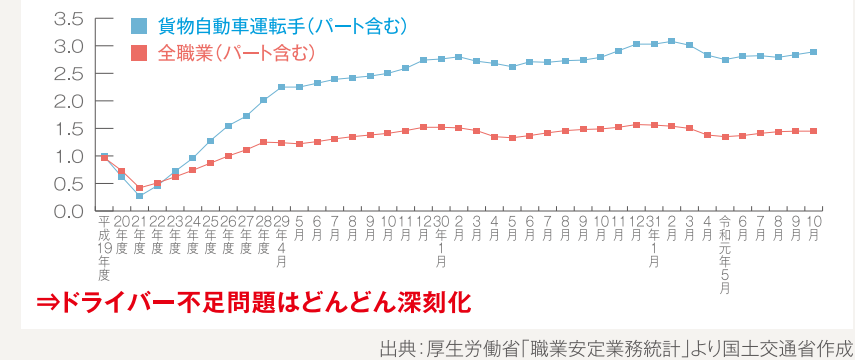
物流業界の諸課題について

適正運賃の確保、大型車ドライバーの労働時間の改善

はまぐち誠の主張
大型車のドライバー不足の改善に向けて、働き方改革をしっかりと進めることが重要
標準貨物自動車標準運送約款*1の見直しは、適正な運賃の支払いを確保する上で非常に有効
一方で、物流業界からはまだ業界全体に浸透していないとの声もある。国交省がリーダーシップを取り、業界内の実態把握と更なる浸透に努めてほしい
併せて、大型車ドライバーの働き方改革を進めるため、改善基準告示*2の見直しもスピード感を持って行うべき



トラックドライバーの有効求人倍率の推移



赤羽国土交通大臣の答弁
物流の成立なしに経済の成長はないと思っている
(標準運送約款の見直し)まだなかなか浸透していないという声は私も聞いている
関係省庁の協力の下、状況の改善に努力していきたい

特殊車両通行許可の審査日数の短縮化

はまぐち誠の主張
特殊車両通行許可の審査日数は、国交省が示す標準的リードタイム(更新:2週間 変更・新規:3週間)に比べ、大幅に日数を要しているのが実態
許可が出るまで車両を走らせることが出来ず、事業機会の大きな損失になる
安全面の確保を大前提に、許可申請の仕組みを抜本的に見直し、審査日数を大幅に短縮化すべき

新車回送(自走)時の高速道路割引料金の適用

はまぐち誠の主張
新車大型車両を自走で運ぶ際、仮ナンバーのため、高速道路を走行する時にETC割引が受けられない
コスト増となるため高速利用が敬遠され、一般道を走ることになり、ドライバーの長時間労働、非効率運送という弊害が発生している状況
ドライバーの長時間労働の是正、輸送効率化の観点から、仮ナンバーでも割引を適用する仕組みを検討してほしい

赤羽国土交通大臣の答弁

物流の成立なしに経済の成長はないと思っている
(標準運送約款の見直し)まだなかなか浸透していないという声は私も聞いている
関係省庁の協力の下、状況の改善に努力していきたい

赤羽国土交通大臣の答弁

大変日数が掛かっているのは事実
現在、通行前の許可手続を簡略化して、経路や重量について通行後に確認する新たな制度を検討しているところ

国土交通省の答弁

現時点においては、仮ナンバー車両の回送車に割引を適用することは難しい
一方、利用者の意見を聞きながら、必要な改善は行いたいと考えている
不正の防止を確保しつつ、仮ナンバーのETC搭載の実施方法や課題について調べていきたいと考えている

政策制度進展報告

「自動車税」が減税になりました! 2019年10月1日以降の新車購入者が対象

2019年度税制改正において、自動車関係諸税創設以降、2度目*1の恒久減税が実現(減税規模は530億円/年*2)
*1 初の減税は2010年度税制改正時(民主党政権)。減税規模は年3,300億円/年(2010年~2019年で累計3兆円超)
*2 530億円/年の減税規模は、全て新税制車両に代替後(2033年頃)時点での見込み

Table showing the reduction of automobile tax (local tax) by engine displacement.

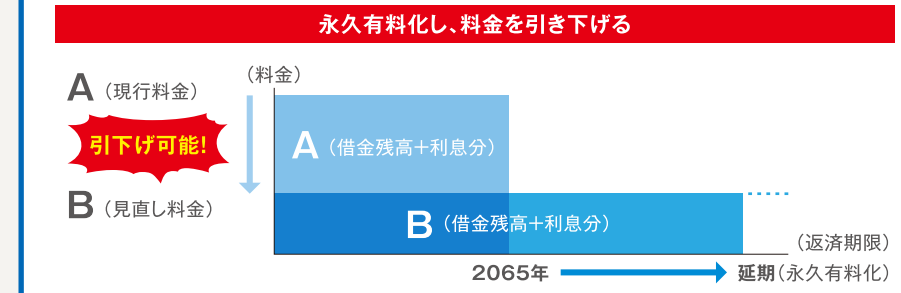
減税に至る背景
経営者団体、自動車総連、自動車産業出身の国会・地方議員、ユーザー団体が連携し、自動車関係諸税の負担軽減を強く要請
地方税収に影響を与えない新たな減税策を提案(=国税で地方税収の減収分を補填)し、各都道府県知事(全16都道府県)への理解活動に奔走
今後の目指す姿と課題 シンプルで分かりやすい税体系に抜本改革
現状 税目数 登録車3 軽自動車3
環境性能割[登・軽]
自動車税[登]
軽自動車[軽]
自動車重量税[登・軽]
抜本改革案 税目数 登録車1 軽自動車1
全て「地方税」負担は国際水準並み
[新]自動車税
[新]軽自動車税
簡素化 負担軽減

第6回 はまぐち みんなのまどぐち

高速道路料金決定の仕組み
現行の高速道路料金は、これまで高速道路の整備(建設・更新等)に要した費用(約28兆円=国への借金)を、2065年9月30日までに完済できるように算出
2065年以降の高速料金は無料になる予定だが、今後も高速道路のメンテナンスや拡張等には財源を確保する必要があり、無料化するのには実質困難
1台あたり約840円の料金で年間の料金収入は確保できる

Table showing the average toll payment for expressways.

はまぐち誠が考える料金引き下げ策



自動車ユーザーの負担軽減、地方での交流人口増加への貢献、物流コスト低減による産業活性化に資する高速料金引き下げの実現に向けて、はまぐち誠 頑張ります!

高速道路料金の引下げ

